

第41回「ハートミーティング」意見交換の内容について

給水区域再編プロジェクトチーム

★参加メンバーからの主な声

- 給水区域再編プロジェクトチームでは、平成24年度末に山ノ内浄水場を廃止することを最大の目標として、給水区域の再編に取り組んでおり、3浄水場体制の構築に向けて、給水区域切替計画の策定をはじめ、管路、浄水場、広報・市民対応の3つのワーキンググループを立ち上げ、作業の詳細について検討している。
- 切替作業においては、幹線や支線配水管の水の流れが変わることにより、濁水が発生することがある。そのため、新聞への折り込みチラシの配布等により、地域の住民の方に濁水予想範囲を事前に周知し、切替日には事前に汲み置き等を実施していただくようお願いしている。
- 給水区域の切替えの初回作業のとき、山ノ内浄水場及び松ヶ崎浄水場で24時間いつでも給水出来るよう浄水場を開放し、お待ちしていたが、給水に訪れる方はほとんどおられなかった。水道の御利用を控えていただくよう広報を徹底して行ったこともあるが、京都の市民力の高さの結果だと思う。
- 再編作業における作業員の苦労や難しさなどを市長にお伝えでき、大変な作業を行っていることを御理解いただけて良かった。また、給水区域切替作業時に、大きなトラブルが発生していないことを報告した際、市長が安心されていたのが印象的だった。

★市長からのコメント

- 今回の給水区域の再編事業は、京都の水を守っていくための、大きなプロジェクトである。本日のミーティングはとても楽しみにしていた。
- 給水区域の切替作業は、水道の使用量が多い昼間に行うことが出来ず、使用量が少ない深夜に作業を始め、朝までには作業を完了することが求められる。作業に携わる職員の皆さんには精神的にも、体力的にも非常に御苦勞をおかけしており、御礼申し上げたい。
- この事業は永く後世に名を残す一大事業であり、取組内容や作業のノウハウを未来に継承し、市役所内外に発信していくことが必要だ。事業の記録をDVD化することなどを検討してみてはどうか。
- 蹴上浄水場にはツツジが、鳥羽水環境保全センターには藤棚があり、多くの市民が訪れていると思うが、松ヶ崎浄水場には市民の皆さんが足を運びたいと思うようなものがあまりない。松ヶ崎浄水場にも、他の浄水場等と同様に楽しんでいただける樹木などを植えてみてはどうか。